

令和3年度第2回学校運営協議会議事録

1 日時 令和3年11月30日(火) 15:20~16:20

2 場所 本校リスニング室

3 出席者 12名

大学教授等 自治会代表 PTA代表 同窓会代表

校長 副校長 事務長 経営企画課主任

総務課主任 教務課主任 進路指導課主任

欠席者 3名

4 内容

(1) 開会の言葉【経営企画課】

(2) 会長挨拶

8月26日に開催予定であったがコロナのため本日に延期となった。現在、岩手大学教員養成支援センターで教員を目指す教育学部を除く学生を対象に、教職入門の講義を受け持っている。講義テーマは地域連携である。この学校運営協議会のことも講義の中で紹介している。「何ができるのだろうか」「どんな支援ができるか」を考えていくとき、職員や子どもたちの過度な負担にならぬようバランスをとって実効性を高めていきたい。11月9日付の岩手日報に、いわて高校魅力化グランドデザインの記事が掲載されていた。いずれ、スクール・ポリシー(高校の教育活動の指針)について、この協議会で検討・策定していくことになる。

(3) 学校長挨拶

まずコロナ関係について。本校の生徒は、PCR検査での陽性者は今のところ出ていない。校内ではマスク必須、毎日の体温測定、黙食、集会はリモート配信が日常となっている。今年度は各種大会やコンクールが実施されているため、外部から見ると影響がないように思われるかもしれない。しかし、おしゃべりをしながらの食事はできず、マスクで互いの表情がわからない状態が続いている。人と人との繋がりや距離感が変わってきていると感じており、その影響がどこかに出てくるのではないかと思っている。本日は意見交換が主になる。遠慮なくご意見をいただきたい。

(4) 経営企画課報告

・参加型授業通信

1号から11号までを配付、生徒の具体的な学びの様子や先生が工夫した様子が伝わると思う。

・学校運営協議会関係研修報告①地域とともにある学校づくり推進フォーラム

フォーラムのキーワードは「社会に開かれている」である。

実践発表①二戸市立石切所小学校

学校行事を地域に公開するなど、新しく何かをするのではなく、今すでに行っているものを丁寧に行っている。

実践発表②八幡平市教育委員会

安全の確保、地域の住民とお互いに知っていることで児童を気にかけてもらえる。

学校だけでできないことができるようになる。

・学校運営協議会関係研修報告②学校と地域の連携・協働研修会

実践発表①県立西和賀高校

自分達のまちを取材し発表する。県外募集を考えている中で、地域からの意見をヒントに魅力的な学校づくりを目指している。

実践発表②北上市まちづくり部生涯学習文化課

行政面から組織の作り方や会議の持ち方の説明。コミュニティースクールの一番の目的は、学校のねらいを実現させていくためのアプローチである。エリアとして考えるのではなく人との繋がりをコミュニティにしていけばよい。

(5) 意見交換

ア 授業参観の感想・生徒の様子などについて

普段どんな感想を抱いているか

【委員】日報で拝見していた。コロナで困っているところ教えて欲しい。

【進路指導課】コロナでICTに関わる環境整備が進み、オンラインでの会議が増えた。そのため、以前のように会議の休憩時間や会議終了後にできた情報収集ができなくなった。また、これまではあらかじめ頼まれた卒業生が在校生の指導に協力してくれていた。しかし、コロナのため卒業生による情報収集が難しくなってしまった。コミュニティの維持が変わってきたと感じている。

【教務課】コロナワクチンの接種状況が進んでおり、副反応で月曜日に生徒がかなり休む印象がある。また、英語など語学の授業で口の動きがマスクで見えない。もしかすると従来に比べ支障があるのかなと思っている。始業式や終業式はリモートで行っている。始業式で校歌を歌えないなど応援団の活動も難しい状況にある。今年は女子生徒が応援団長になったがそのお披露目する機会がない。普段の応援団の活動を動画にアップする形で今計画中である。

【委員】高校生活は生徒の貴重な3年間である。イベントはどこまでやって、どこまで中止となっているのか。

【総務課】ALTの新任式をリモートで行った。卒業式は県民会館で保護者と生徒の導線を分けて行う予定である。歌が歌えないので、一体感団結の場面をつくるのが難しくなった。

【進路指導課】コロナのために、さまざまな行事を通し上級生から下級生にノウハウが引継がれる機会が失われている。行事の代替えにも腐心している。また、学校外の方との関わりが減っている。

【委員】修学旅行は実施されるのか？

【総務課】2年生は県内を日帰り3日で実施する予定である。

【委員】3年生はどうだったのか。

【総務課】延期して今年の6月に県内で実施し思い出づくりができた。修学旅行などの行事については三高の場合「人との繋がり」が大切だと思う。1年生の三陸実習なども、岩手県内で広く捉えていくやり方もあるのかなと考えている。

イ 学校運営協議会のあり方について

【委員】研修報告を聞き、このような取り組みは小学校や中学校がメインだと感じた。社会とのつながりを、進学校の生徒に対してどのくらい取り入れることができるのかとても難しいと思う。例えば清掃といった社会貢献など、具体的なイメージがあれば聞か

せて欲しい。

【経営企画課】1年生の三陸実習では、地域の活性化についてグループで調べ、当事者として考える取り組みをしている。三高での探究活動の入り口である。大学の研究機関とのやりとりもある。内発的に出てくれば良いと思っている。例えば、地域でのボランティア活動などが生徒の方から出てくれば頼もしい。少しでも外にできることが大事だが、部活動や学習でなかなか時間がとれない現実もある。

【委員】新たに何か考えたことはあるか。例えば、安全教育については地域との連携が大事である。交通安全や避難訓練などを近くの小学校や中学校とコラボレーションしてはどうか。小学校であればスクールガードとか。どこまでどのあたりまで深めればいいのか。

【校長】本校では15名中8名が教員である。他校では教員が入っていないケースもある。校外の委員をもう少し増やしてもいいのかなと思う。

【委員】地域連携、学術連携、産学連携。学術は入り込んできていると思うが、産学はどうなっているのか。

【校長】以前SSHの頃は、会社の方に来ていただいた。

【委員】どういう方向に持っていくのか。何か柱を考えないと集まっても方向が見えない話し合いになる。方向性をだしていくのが先かと思う。

ウ その他

【委員】地元の銀行では、新入行員の大学のレベルがあがった。コロナのため、進路では地元志向が増えたと聞いているがどうか。

【進路指導課】大学卒業後に岩手県へ戻ってきたという意味か、大学進学の際に岩手県内を希望しているという意味のことか。いずれにせよ、本校だけではなくコロナ下では地元志向が高まっている。

【校長】全県的に見ると昨年地元就職する高校生が増えた。今年はさらに増えた。影響はあるかもしれない。

(6) その他

【副校長】今年の10月に県教委は、いわての高校魅力化デザイン for 2031（岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション）を策定・公表した。高校では来年度から新指導要領が実施される。教育委員会が公表したスクール・ミッション（存在意義・社会的役割・目指すべき学校像）に基づき、各校がスクール・ポリシーを策定するといったことがこの背景にある。方向性としては特色化魅力化、基本的な考え方を再定義し編み直していく。委員の方々には魅力化協働パートナーとして、次の3つのスクール・ポリシーについて協議していただくことになる。探究的な学びがキーワードである。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

期限は来年度中である。スクール・ポリシーを踏まえ、学校経営計画などを作成する。

(7) 閉会の言葉【経営企画課】